

広報

No.243

国見町

平成5年9月15日

発行・編集 国見町総務課

国見町老人保健福祉計画	2～3
国見町の重点事業	4
活性化センターが完成	5
県北中中体連大会などで活躍	6
ふくしま国体県民運動	7
フィリピンからの研修生	8
ふるさとの文化財	9
お知らせ	10～11
公民館だより	12～13
わだい	14



ねらいを定めて

'93 9月

8月24日、第5回国見町老人クラブ連合会運動会が、町民体育館で行われました。

国見町老人クラブ連合会（斎藤正美会長）主催による運動会には、単位老人クラブごとに10名で編成された、18チームが参加しました。

趣向をこらした4種目の競技で、得点が争われ、塚野目老人クラブが、優勝しました。

豊かな老後に向けて

国見町老人保健福祉計画を策定

私たちの町には、六十五歳以上のお年寄りが、四月一日現在で、二千二百八十人います。

高齢者の割合は、町全人口の約十九パーセントとなっております。しかも、高齢者の比率は、年々増加傾向にあります。

町では、町民の皆さんが、生涯にわたって健康で、安心して生活できる人生八十年時代にふさわしい、新しい社会システムの構築に向けて、平成五年度を初年度に平成十一年度を目標年度とする「国見町老人保健福祉計画」を策定しました。この計画は、国の「高齢者保健福祉推進十か年戦略」（ゴールドプラン）を基に、国見町の実情に合わせた高齢者の保健福祉の総合指針としてつくられたものです。

今回は、国見町老人保健福祉計画の概要についてお知らせします。

計画の策定に

あたって

に諮問。審議会では、「保健福祉部会」で審議を重ね、四月二十六日、町長に答申したものです。

計画策定体制

国見町においては、計画策定のため、関係係長レベルで構成する「国見町老人保健福祉計画策定検討会」、関係課長で構成する「国見町企画調整会議（計画策定委員会）」で原案を検討。さらに、国見町振興計画審議会条例に基づく「国見町振興計画審議会」

基礎調査を実施

計画策定に当たっては、実態に即し、実効的な計画となるよう、アンケート形式による在宅高齢者保健福祉基礎調査を実施しました。

この調査は、平成四年三月一日現在、町内に居住する六十五歳以上の高齢者を対象に、

計画の重点

在宅保健福祉サービス

全国に先行して進行している高齢化に対応するため、将来のニーズを踏まえた在宅保健福祉サービスの基盤的な事業の量的・質的な拡充が、進められます。

これは、基礎調査の結果、多くの高齢者の望みである、在宅での生活を実現できるように、個々の高齢者の状況に応じたきめ細かなサービスを総合的・体系的に提供できるようにするためです。

この計画では、在宅福祉の三本柱といわれる、ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイ事業について重点的に整備するようになっていきます。

※在宅福祉三本柱

○ホームヘルプサービスとは
老衰や身の障害等のために、日常生活に支障のある高齢者のいる家庭に対して、ホームヘルパーを派遣して、食事や入浴等の介護サービス及び掃除や買い物等の

家事サービスを行うものです。

○デイサービスとは
在宅の虚弱老人等を日帰りでデイサービスセンターに通所させ、生活指導、日常動作訓練、入浴給食サービス等を提供するものです。

○ショートステイとは
寝たきり老人等の介護者が病氣や冠婚葬祭、旅行等のため一時的に介護できない場合、特別養護老人ホーム、または、養護老人ホームに短期入所させるものです。

健康づくり

この計画では、老人の福祉対策ばかりでなく、健康増進や成人病予防を内容とした一般健康教育のほか、壮年期、向老期、要介護者を抱える年代などのライフスタイルや疾病別に、多様な対象者、テーマを設定した健康教育にも重点を置いています。

また、健康相談や健康診査の充実も図られています。

さらに、寝たきり老人ゼロ作戦の展開など、健康づくりのきめ細かな対策が盛り込まれています。

高齢者ができる限り、住み慣れた地域で生活が営めるよう、在宅における保健福祉サービスの充実を基本とし、これらのサービス提供拠点として、デイサービスセンターや在宅介護支援センターなどの整備充実が図られます。

また、心身の障害や、家族の介護状況などにより、家庭での生活が困難なケースも増加するものと考えられ、これらの施設ニーズにも的確に対応するため、広域的に調整を図りつつ、特別養護老人ホーム、及び、老人保健施設などの整備の促進が図られます。

施設保健福祉サービス



この笑顔いつまでも

地域ぐるみで

高齢者の支援を

民間活動の育成と支援

保健福祉サービスの円滑な推進を図るために、社会福祉協議会活動への支援と強化、そして、ボランティア、民間団体などの活動の一層の促進を図っていきます。

生きがい対策

「人生八十年時代」の到来による生涯生活時間の長期化を踏まえ、長い高齢期を生き生きと充実したものにするため、高齢者の社会参加を促進するなど、多様な生きがい対策を推進していく必要があります。

このため、老人クラブ活動を積極的に支援していくほか、シルバースポーツの振興を図るなど、生きがい対策を推進していきます。

高齢者生活

総合支援システム

今後の高齢者保健福祉対策のあり方を踏まえ、老人保健福祉計画の実効性を確保するため、高齢者生活総合支援システムの構築を図ります。

これは、高齢者生活支援ネットワークによる高齢者等の実態・ニーズの把握、及び、自立生活への支援活動の展開を行うとともに、保健、医療福祉との密接な連携による高齢者ニーズへの適切な対応により、地域ぐるみで高齢者の自立、安心できる生活を支援しようとするものです。

(下図のとおり)

安心して暮らせる

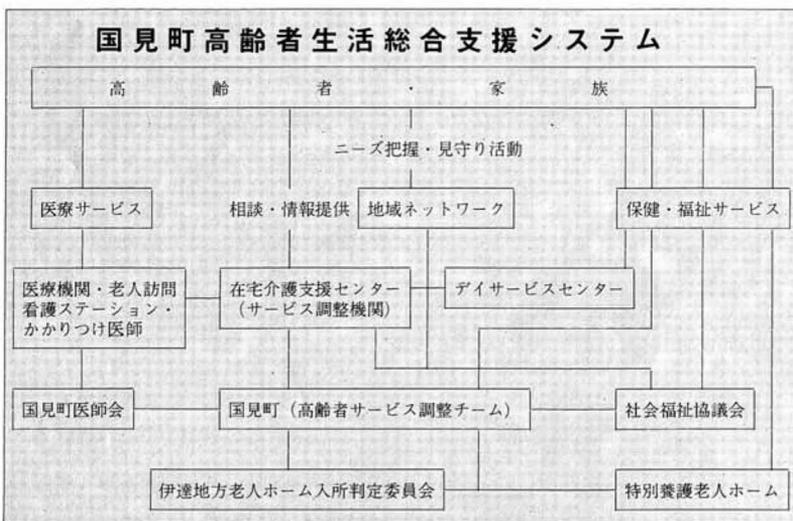
町づくり

国見町では、「子供からお年寄りまで、みんなが健康で安心して暮らせる町づくり」を進めています。

今後は、「国見町老人保健福祉計画」に沿い、在宅保健福祉サービス事業をはじめ、高齢者福祉、身障者福祉などの諸施策をより一層積極的に展開していくこととなります。

デイサービスセンターを備えた、文化・福祉総合施設である「観月台文化センター」も間もなく完成し、地域の高

国見町高齢者生活総合支援システム



齢者の社会参加、生きがい活動の場を提供する地域福祉の拠点としても活用されることとなります。

今、国見町は、総合的な福祉社会に向けて、新たな一歩を踏み出そうとしています。

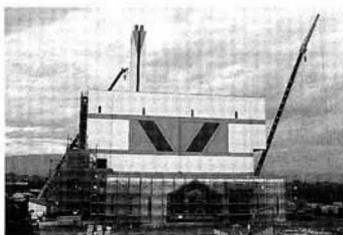
平成五年度

国見町の重点事業

⑥

今回第六回目は、伊達郡九町で組織運営する伊達地方衛生処理組合において、新たに建設を進めているごみ焼却施設についてご紹介いたします。

新ごみ焼却施設は、現在あるごみ焼却施設が、老朽化したため、更に、増え続けるごみ処理に適切に対応するために、平成三年度から平成六年度までの四力年の継続事業として建設を進めているものです。



順調に建設が進むごみ焼却施設

これは、東京ドーム約百三十五杯分に当たります。

しかも、ごみの量は、経済活動の活発化、ライフスタイルの変化等に伴い、年々増加する傾向にあります。

伊達郡九町で組織運営する（し尿については、一部福島市も入る。）伊達地方衛生処理組合においても、ごみの量は、年々増加し続け、平成四年度の全体の量は、三万三千七百五十三トンに達しました。

この量は、組合が処理事業を開始した昭和五十一年当時と比較すると、二・七倍にもなっています。（川俣、飯野町は、昭和六十年度より加入。）

この内、国見町の分についてみると、平成四年度のごみの量は、二千三百五十二トン

で、昭和五十一年当時の一・八倍に達しています。（ごみの量は、町が委託収集している可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの合計です。）

新ごみ焼却施設を建設

増加し続けるごみ処理に、今後も適切に対応するために、伊達地方衛生処理組合では、老朽化した現有施設に替え、平成三年度から平成六年度までの四力年の継続事業により、保原町大字西新田地内（現在ある施設の隣）に、新施設を建設しています。

建設工事は、平成三年度の着工以来、順調に進んでおり、平成七年度供用開始に向け、現在急ピッチで建設が進められているところと見られます。

平成五年七月末現在の工事進行状況は、約五十パーセントです。

建設費と財源

ごみ焼却施設建設の総事業費は、五十五億千五百万円です。

財源につきましては、国庫補助金が六億五百六十二万三千円、起債が三十九億七千七

ごみ焼却施設整備計画

1. 施設規模 50t / 16時間 炉×3炉 計 150t / 16時間
2. 炉形式 准連続燃焼式ストーカー炉
3. 事業年度 平成3.4.5.6年度（4カ年継続）
4. 事業費
 - (1) 総事業費 5,515,000,000円

(2) 財源内訳

国庫補助金	605,623,000円
起債	3,977,500,000円
一般財源	931,877,000円
(内各町負担金)	425,430,000円

国見町の負担金（平成5.6年度合計）：約35,440,000円

百五十万円、一般財源は九億三千八百八十七万七千円となっています。

一般財源のうち、四億二千五百四十三万円を伊達郡九町で負担します。

負担金は、平成五、六年度の二カ年に分けられており、ごみの収集実績割と平等割とで定められます。

国見町の平成五年度の負担金は、ごみ収集実績割が全体の七・九四パーセントの千五百七十四万円、平等割が二百

四十四万五千元、合計千八百十八万五千元となっています。平成六年度の負担金は、合計で約千七百二十五万五千円の子定です。

なお、建設工事のための元利償還金については、五十パーセントが地方交付税で措置されます。

○次号では、平成五、六年度の継続事業で山崎字南古館、通称源宗山地内に建設する源宗山配水池建設事業についてお知らせする予定です。

増え続けるごみ

現在、日本全国の家庭などから排出されるごみの量は、一日約十三万七千トン、一年間では、およそ五千五百万トンものばるといわれています。

活性化センターが 完 成



新しい季節保育所で学ぶ幼児たち

農林省の補助を受けて、建設費一億三千百十五万円で、西大枝字王壇前地内に建設を進めていた国見東部高齢者等活性化センターが、予定より早く完成し、八月三十日、現地において引渡式が行われました。また、翌三十一日には、活性化センターの一般公開が行われました。

活性化センターの正式な使用については、使用に関する条例が制定され、備品が整備された後になりますが、九月一日から、大枝季節保育所として仮使用を開始しました。平成五・六年度の継続事業

で建設される多目的ホール(体育館)についても、入札を終え、着々と進行しています。

ロバートです 気軽に声をかけてください



ロバート先生

ウォーカー先生の後任として、今年の八月から来年の七月まで、英語指導助手として、県北中学校で英語指導に当たるロバート・ウイリアム・ベングター先生が着任しました。ロバート先生は、英国イングラント・ストーク市の出身で、ハットフィールドポリイ大学化学科の卒業です。本年度からは、国見町の単独招致となりましたので、密度の濃い英語指導が期待されます。

また、着任前の二年間、塩川町に滞在しており、日本語も話せます。買い物先などで見かけた時は、気軽に声をかけてください。

人権擁護委員に 牧野武夫さん

八月二十三日、役場町長室

において、牧野武夫さん(藤田字日渡三、七二)に、人権擁護委員の委嘱状が伝達されました。

伝達式は、牧野さんが、法務大臣から人権擁護委員を委嘱されたことに伴い行われたものです。

牧野さんは、今回が三期目(任期三年)となります。



富永町長より委嘱状が伝達される

献血ありがとうございます

ごぞいまして

(順不同・敬称略)

- (一般協力)
- 高橋 勝美 木谷 徳好
- 斎藤 正美 佐藤 ひろみ
- 谷津 隆幸 斎藤 規雄
- (朽木継進)
- 朽木 好秋
- (東栄電機)
- 佐藤 幸輔
- (コープマート国見)
- 半沢 アサ子 本間 都
- (国見町商工会)
- 鎌水 正春 吉田 とき子
- 松浦 惣一 佐久間 ツヤ子
- (国見町役場)
- 吉田 義勝 八巻 忠義
- 羽根 洋一 引地 由則
- 武田 正裕 鈴木 哲也
- 武田 幹夫 後藤 登美子
- 渡辺 幸雄 佐藤 和夫
- 松浦 幸雄 佐藤 浩朗
- 佐藤 克成 菅野 信朗
- 菊地 弘美

成分献血に 30人が協力

八月二十三日、国見町福祉センター老人子ども室を会場

とした、成分献血(オープン採血)を行い、30人(申込者は31人)の方々からご協力をいただきました。

八年連続個人県民税 収納成績優良町村

国見町は、平成四年度の個人県民税収納成績優良町村として、福島県知事から感謝状



県税事務所長から感謝状と盾が贈られる

と盾が贈られました。また、泉田下納税貯蓄組合は、県自動車税の納期内完納により、福島県事務所長から感謝状と記念品が贈られました。

感謝状の伝達式は、八月四日、役場町長室で行われ、山口恒雄福島県事務所長から富永武夫町長と佐々木義蔵町納税貯蓄組合連合会長に感謝状と記念の盾が、阿部三義泉田下納税貯蓄組合長に、感謝状と記念品が、それぞれ手渡されました。

国見町が優良町村に選ばれたのは、今年で八年連続です。町民の皆さんをはじめ、納税貯蓄組合長さんの税に対する深いご理解と、ご協力によるものであり、厚くお礼申し上げます。

躍動する県北中学校

中体連大会などで活躍

涼しい夏、雨降り続きの夏でしたが、県北中学校(斎藤一哉校長)では、ホツトナニュースに沸きました。

福島県中体連大会陸上競技大会において、県北中学校は、郡内では初めてという男子総合四位入賞の快挙を成し遂げました。

また、福島県中体連大会総合体育大会においても、軟式野球部がベストエイトに残るなど、各種大会において好成績をおさめました。

さらに、吹奏楽部は、福島県吹奏楽コンクール県北大会において金賞を獲得し、県大会に出場、見事銅賞に輝きました。

——ふくしま国体へのホープ——



渡辺智徳君 (3年)

野球部のレギュラーでもあり、一番打者として駿足を生かし、県大会ベストエイト入りの源動力となる。



古川智之君 (3年)

伊達地区中体連大会において、四百mで大会新記録を樹立し優勝、県大会へ出場し、堂々三位に入賞、東北中学選手権陸上競技大会に出場し、決勝進出七位となる。



佐藤康成君 (2年)

ンも務める。

伊達地区中体連大会において、二年四百mにおいて、新記録をマークし優勝、県大会において見事二位に入賞し、東北中学選手権陸上競技大会に出場した。

中体連大会などに おける輝かしい成績

(敬称略)

(伊達地区中体連大会)

○陸上競技大会(5月26日)

・男子総合 第二位

・一位(県大会出場権獲得)

○印は大会新記録

二年四百m ○佐藤康成

三年四百m ○渡辺智徳

共通二百m ○渡辺智徳

共通四百m ○古川智之

共通八百m 大沼哲也

共通百mハードル 吉田雅俊

共通八百mリレー①八島、大沼、古川、渡辺、奥山、佐藤

一年百m 佐藤友美

共通砲丸投げ 穴戸智美

共通三種B 斎藤友喜

二位 佐藤康成

共通二百m 佐藤康成

共通百mハードル 奥山明典

共通三種A 阿部夏樹

三位

共通八百m 一条 聡

共通棒高跳び 八島隆記

低学年四百mリレー

共通走高跳び 村上絵美

○総合体育大会(6月10、11日)

・優勝 男子バスケットボール

・準優勝 男子ソフトテニス

・三位 軟式野球 男子剣道

女子剣道 男子柔道

(個人の部)

・優勝

柔道軽量級 徳江正文

卓球シングルス 斎藤友喜

・準優勝

柔道中量級 佐藤雄介

卓球シングルス 三木郁絵

剣道二年 高橋理恵

柔道重量級 穴戸智美

・三位

ソフトテニス 志村・奥山組

柔道軽量級 後藤賢一

柔道中量級 渡辺昌彦

柔道重量級 遠藤貴司

剣道二年 高原淳子

○水泳競技大会(6月16日)

・男子総合 第三位

・女子総合 第六位

(個人の部)

・一位

百mバタフライ 松浦順一

・二位

二百mバタフライ松浦順一

百m平泳ぎ 安藤良樹

二百m平泳ぎ 安藤良樹

千五百m自由形 遠藤勝之

二百m背泳ぎ 渋谷美奈

・三位

四百mメドレーリレー

四百m個人メドレー遠藤康幸

四百m個人メドレー大友陽子

百m背泳ぎ 渋谷美奈

二百m個人メドレー松田聖子

〈東北地区中体連大会〉

○総合体育大会(6月23・24日)

- ・三位 軟式野球(県大会出場権獲得)
- ・個人(部)

- ・三位 柔道
- ・七位 柔道軽量級

徳江正文

佐藤雄介

六戸智美

(以上三名県大会出場権獲得)

○水泳競技大会(6月29日)

- ・六位

松浦順一

(県大会出場権獲得)

〈福島県中体連大会〉

○陸上競技大会(7月7・8日)

・男子総合 第四位

(個人(部))

- ・二位

佐藤康成

- ・三位

渡辺智徳

共通四百m

古川智之

(以上三名東北大会出場権獲得)

- ・五位

共通八百mリレー 八島、大沼、古川、渡辺、奥山、佐藤

- ・七位

共通八百m

大沼哲也

○総合体育大会(7月27・28日)

・軟式野球 ベストエイト

〈東北中学選手権陸上競技大会〉

青森市(8月9・10・11日)

- ・六位
- ・七位

渡辺智徳

共通四百m

古川智之

(二種目とも標準記録を突破)

全国大会出場権を獲得

・一位

渡辺智徳(11秒21)

男子二百m

シリーズ

ふくしま国体県民運動に

みんなで参加しよう!

「ふくしま国体県民運動のめざすもの」

◎どうして、国体のための県民運動を行うのでしょうか?

冬・夏・秋の三季にわたる全競技を本県で単独開催する「ふくしま国体」は、半世紀に一度の大イベントであり、全国から約五万人の選手・役員等の方が訪れます。これらの方々をあたたくお迎えし、こころを込めておもてなしするためには、どうして

も県民の皆さんの御理解と御協力が必要となってきます。そのため、皆さん一人ひとりに、積極的に国体に参加していただくため県民運動を進めているのです。また、それは同時にふくしまの素晴らしさを全国で紹介すること、そしてわたしたちの郷土「ふくしま」の地域づくりでもあるのです。

みんなの力でふくしま国体の成功と、ぐうつくしま、ふくしま。の実現をめざしましょう。

◎ふくしま国体 県民運動とは?

国体に向けた県民運動は、七つのテーマで進められています。 ◎ふくしま国体の応援をしよう ◎清潔で花いっぱいのおまを つくろう ◎ふくしまをよく知り、紹介しよう ◎親切とふれあいの輪を広げよう ◎社会生活のルールを守ろう ◎健康を高めよう ◎スポーツに親しもう

◎国体県民運動参加へのステップ

- ステップ1 「まずは、国体に関心をもちましょう」
- ふくしま国体の開催意義について理解。
- 地元や近隣市町村で開催される競技内容(競技種目、ルール等)についての理解。

○ステップ2 「次に国体の機運の盛り上げなどに参加しましょう」

◎国体県民運動への参加

- ・貸出用啓発資材等を利用した、文化祭、祭り、職場などでの国体PR
- ・県民運動推進大会への参加
- ステップ3 「そして、実践しましょう」
- ・各地で既に行われている運動へ積極的に参加しよう

例)河川クリーンアップ作戦 町内会活動 オアシス運動 お祭り、地区運動会 公民館活動

運動の主体は、皆さん一人ひとりと、皆さんのステップをお待ちしています。

国体県民運動へのお問い合わせは、町企画商工課 または、県国体局総務課県民運動係 ☎21-7538 までお願いいたします。

フイリピンからの 研修生を受け入れ

山崎工業団地の中に、懶猪俣製作所があります。

懶猪俣製作所は、町の誘致企業であり、昭和六十年に本社がある埼玉県川越市から、国見町大字山崎字小林西三二に、立地した企業です。

精密機械製造を行っており、現在、従業員は二十数名です。懶猪俣製作所は、フイリピンにも進出しています。

そのような関係から、フイリピンから、二人の研修生が、製造技術を身につけようと訪

れています。七月から今年いっぱい半年間、懶猪俣製作所で研修を行うのは、エディー・マルチネスさん(25歳)と、リー・サントマリアさん(24歳)で、ともにマニラ近郊の出身です。

二人は、国見町の印象について、「美しい町」と語る。また、「夜、体育館などで、大人の方が、スポーツに楽しんでるのを見て感心した。(フイリピンにはない光景なので)」と語ってくれました。

ボランティア紹介

渡辺宏之さん



渡辺宏之さん

新潟の大学を卒業してから、国見町に戻り、家業の自動車整備業に従事しています。

現在、国見町柔道クラブの

副会長として活躍しており、毎週火曜日と金曜日には、町民体育館での練習のかたわら、スポーツ少年団の柔道の指導をしています。少年たちが、柔道を通して小、中、高校と着実に成長していくのが、楽しくて仕舞がない様子。

技術的なことだけでなく、精神的にも少年たちの相談相

来日以来、二人自身も、時々夜には、山崎耕谷家庭バレーボールチームの皆さんに交じり練習を行っています。二人を見かけたらい、親切に



研修生のリーさん(左)とエディーさん

手として接していこうとしています。

少年たちの思い出づくりの一つになればと、柔道の指導のほかに、キャンプやサイクリングなど、いろんな企画をしています。

ソフトな声と柔和な表情で取材に応じてくれた渡辺宏之さん(藤田字一丁田二、二の八)は、柔道は初段、趣味はドライブという三十歳の独身です。

十月に

町勢懇談会を実施

町民の皆さんの町政に対する御意見、御要望を広く取り入れ、より一層、「活力ある町づくり」、「快適で住みよい町づくり」を積極的に推進するため、今年も町政懇談会を十月に実施いたします。

東北電力より

街路灯が寄贈される

八月十九日、東北電力株式会社福島営業所(斎藤恒夫所長)から、街路灯(二十ワット蛍光灯)三灯が寄贈されました。

これは、うつくしまふくしま運動の一環として、快適でやすらぎとうるおいのある街づくり役に役立ててくださいと贈られたものです。



富永町長に目録が手渡される

豊かさは 住みよい環境 住まいから 10月1日「住宅統計調査」

10月1日、全国一斉に“住宅の国勢調査”ともいわれる住宅統計調査が行われます。この調査は、「豊かな住生活“実現のための基礎となるものです。調査員が9月23日から調査票を持って調査をお願いするお宅に伺います。ご協力をお願いします。



平成5年住宅統計調査

お問い合わせは 企画商工課商工振興係へ
(☎85-2111 内線254)

ふるさとの文化財

98

地籍図

菊池利雄

地籍図とは、土地を一筆ごとに測量して大縮尺に描いた地図のことで、字名、筆界、地番、地目などが図示されており、この地図には、新旧の二種がある。

新しい地籍図は、昭和二十六年に施行された「国土調査法」に基づく地籍調査によって作成されたもので、現在国見町においても進行中で、完成にはなお数年の歳月が必要とされるが、ここで取り上げられるのは、俗に役場の地図とか公図とよばれる古い地籍図についてである。

明治新政府は、財政基盤の確立を図るため、旧幕藩体制時代における主要な財源である田租が物納（伊達郡では、上杉領時代より「半石半水」とよばれ、米と銭とを半々に納めていた。）であり、米価が市況の変動によって、歳入の見積もりが、不安定である

のを是正しようと、徴税の方式を改革する「地租改正」を

実施に移すこととし、土地の個人所有を認める権利証としての地券の交付や、地租の金納を義務づけるとともに、売買や譲渡の禁令を廃止した。

これに備えて、明治六年から各村では、土地一筆ごとに畝杭を立て、字名、地目、所有者名を記し、重複や脱落が無いように、各杭に番号を付けてながら、竿を立て間縄を用いて、地詰め測量を行い、十字法や三斜法で求積し、平

地部では、一間を一分とする六百分の一の「字限図」と、索引を兼ねた村全図である「地引絵図」がつくれられ、それと対をなす前記事項を記載したのが「地引帳」である。

これらの図面や帳簿は、測量に携わった人材の不足や、急いで作成した材の不足や、土地の実態と符号しもない箇所があったり、山林原野部の調査が不十分なことから、その後とも継続して再調査が行われ、村ごとにまとめた「字限図」を編集した「地籍図」、「地籍帳」。道路、水路の幅員と長さ等を記した「丈量帳」が作成され、明治二十二年の新

完了している。

「地籍帳」は、明治二十二年より「土地台帳」と改められ、これらの簿冊は、昭和三十五年まで、土地所有の確認と地租徴収の基本台帳として市町村役場に備えられ、現存しており、「地引絵図」等旧村の簿冊類は、区有文書として残されているものもある。

「地引絵図」や「地籍図」は、江戸時代の村絵図に似て、道は赤、水路は青、耕地は黄色にして描かれており、古い地割を活用すれば、条里制、城郭、宿場集落の復元等、歴史地理学研究の資料としても貴重なものである。

なお、「丈量帳」に、道路、水路の幅員が、一割とあるのは六尺、五分とあるのはその半分の三尺であり、「地籍図」を読むうえでの参考にしていただければ幸いである。

文中の丈量単位は「尺貫法」による。



旧村「地籍図」の表紙

文化団体紹介

あしたはば 「明日葉の会」

八月末の蒸し暑い夜でしたが、高橋幸子先生（藤田字一丁田二、一の四）の自宅のけいこ場から、すがすがしい筆の音が聞こえてきました。

会員は現在十名です。集団での練習には、限度があるもので、普段は、会員が先生のもとに通って、個人練習を行っており、会が近くなると曲ごとにとまとまって、合奏練習を行う形をとっているようです。（現在は、なじみやすい現代曲が中心ですが、古典の勉強もしていきたい。新しいホール（文化センター）ができたら、良い演奏会を開きたい。」と、会長の武田英子さん（藤田字一丁田二、一の十二）が、明日に向けた夢を語ってくれました。

明日葉とは、今日摘んでも明日には、また新しい葉が出るという健康野菜です。「どんなことがあっても、くじけないぞ」と、「明日葉の会」が発足して、八年になります。



高橋先生の三味線に合わせ等の練習を行う

心がけましょう

西分署だより

災害弱者を

火災から救おう！

火災が発生すると、悲しいニュースの中に、「災害弱者」と呼ばれる、お年寄りや乳幼児などが犠牲になった報道をたびたび見受けられます。

高齢者、乳幼児、身体の不自由な障害者、さらに、最近増えている外国人労働者などは、生活していくうえで、様々なハンディキャップがあります。

このようなことから、常日頃、火災を出さないために、そして、万一出火したときの

ために、次のような点に心がけることが大切です。

- 一、早期発見、初期消火対策に、住宅用の「警報器」や「スプリンクラー」を備えつける。
- 二、カーテン、ジュタンなどは、防炎性能の物にする。
- 三、お年寄りは、一階などの避難しやすい部屋で寝るようにする。

寝たばこをしない。
四、マッチやライターを子供の手の届く所に置かない。
五、小さな子供だけで留守番をさせない。また、子供には火遊びをさせない。

六、干渉と気配りは別です。近所に一人暮らしの老人や外国人がいたら、いつでも協力する心構えを持つ。

このように、地域社会の「災害弱者」に対する日頃の取り組みが何よりも大切です。周囲の人は、暖かく手を差し伸べ、災害から命を守ってあげましょう。

定期点検は

車の愛情チェックです

皆さん、交通ルールを守って、いつも安全運転をこころがけていますか。点検整備は定期的に行っていますか。

ドライバーにとって、交通ルールを守るのが大切なように、クルマにとって定期的な点検整備は、とても大切なことです。

小さなトラブルが、思わぬ事故を招いてしまうこと

であるのです。

だからクルマにも、愛情を持って接するのが大切。快適で安全なドライブを楽しむために、きちんと点検をしましょうね。

「定期点検整備促進運動」の実施期間
平成五年九月一日～十月三十一日

■問い合わせ
福島陸運支局整備課
☎460345

戸籍の窓口

(8月受付分)

出生おめでとうございます

氏名	保護者	町内会
瑞樹(みずき)	菅野芳永	北内西柳三田田東
友也(ともや)	鈴木耕治	大川内並第貝員石母田原
津美(つみ)	赤坂政晴	幸雄里久一則富藏
洋(ひろ)	松浦淳一	幸雄里久一則富藏
奨(奨)	森高幸雄	幸雄里久一則富藏
麗(れい)	高橋岩里	幸雄里久一則富藏
舜(しゆん)	阿部里久	幸雄里久一則富藏
乃(の)	藤田一則	幸雄里久一則富藏
彩尚(あきひろ)	後藤富藏	幸雄里久一則富藏

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
藤善(ふみよし)	東市坂
佐藤(さとう)	石島
森(もり)	石島
藤(ふじ)	石島

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
山崎(やまざき)	78	北内西柳三田田東
市村(いちむら)	61	大第大第川上谷柳前東北南
横志(よこし)	85	大第大第川上谷柳前東北南
斎藤(さいとう)	72	大第大第川上谷柳前東北南
鈴木(すずき)	90	大第大第川上谷柳前東北南
佐藤(さとう)	65	大第大第川上谷柳前東北南
野村(のむら)	76	大第大第川上谷柳前東北南
牧野(まきの)	57	大第大第川上谷柳前東北南
佐藤(さとう)	79	大第大第川上谷柳前東北南
平岡(ひらおか)	67	大第大第川上谷柳前東北南
岡崎(おかざき)	80	大第大第川上谷柳前東北南
崎(さき)	67	大第大第川上谷柳前東北南

人口と世帯

9月1日現在(前月比)8月中のうごき

男	5,742人 (+9)	転入	22人
女	6,145人 (-1)	転出	11人
計	11,887人 (+8)	出生	9人
世帯数	3,032戸 (+2)	死亡	12人



おとよみ

9月 長月(ながつき)

10月 神無月(かんなづき)

20日(月) 動物愛護週間(～26日)

1日(金) 共同募金運動(～12月31日)

21日(火) 秋の全国交通安全運動(～30日)

健康強調月間

23日(木) 秋分の日

10日(日) 体育の日

24日(金) 結核予防週間(～30日)

目の愛護デー

環境衛生週間

11日(月) 全国防犯運動(～20日)

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間: 9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

9月24日(金)	村上 金正・佐久間モト
10月5日(火)	桜沢 正・渋谷 愛子
10月15日(金)	松浦 輝夫・後藤 アヤ



国見町公民館
 ☎85-2676
 FAX 85-2707

アサガオ観賞会

アサガオ観賞会

阿津賀志学級では今年度も

高年齢の生きがいと健康づくり推進事業の一環として、学級生の体験学習をとおして環境美化に努め、情操を養うというねらいで、アサガオの一人一鉢運動に取り組んで参りましたが、その成果を披露し合う観賞会が去る八月二十日、町民体育館で開かれました。当日は、町園芸愛好会会長 秦三郎様の懇切な指導をい

ただきながら、天候不順の中丹精込めて育て上げた多数の鉢が展示され、会場内には早朝より約百四十名の学級生が訪れ盛會でした。

そして、白、紅、青、紫など色鮮やかに咲き誇ったアサガオの花を熱心に見比べながら、その見事な出来栄えに感心し合い、楽しいひと時を過ごしました。

なお、優秀作品として金賞、銀賞それぞれ十点左右が選ばれ、記念品が贈られました。

少年仲間づくり教室

キャンプ研修

少年仲間づくり教室のキャンプ研修は八月三日から五日まで、宮城県白石市・国立南蔵王青少年野営場で行われました。

仲間づくり教室は小学校の四年生以上を対象に、学校や学年を超えた仲間づくりをしながら児童の健全育成を目指すのが目的で、今年は三十七人が参加しました。



見事に咲いたアサガオに見入る学級生



楽しい思い出のキャンプ研修

公民館前をバスで出発、野営場に到着すると、早速テント設置を開始。初日はカレーライスなどの炊飯活動、二日目は近くの「水芭蕉の森」へのハイキングやスイカ割り、麦ワラを使った虫ご作りなどを楽しみました。夜はキャンドルファイヤーやゲームを行い、夏休みの楽しい思い出をつくりました。

三日間にわたる阿津賀志学級生の方に参加していただき、テント設置や火おこしなどキャンプ生活全般にわたって協力していただきました。

日のアサガオ観賞会後、講堂において簡単にできる健康体操を行います。

前福島市社会教育指導員の佐藤キイ先生の用意された貴重な資料をもとに、具体的にきめ細やかな指導のもと、手足を中心に楽しく体を動かし、爽快な気分になりました。

なお、先生は、健康な体づくりのために次のようなことを強調されました。

- 1、自分の健康は自分で守る。
- 2、大脳を刺激して頭の回転をよくし、快適な毎日を過ごす。

- 体のすじを伸ばす。
 - 自分の手で、自分の体をたたく。
 - 手足の指を曲げ伸ばしする。
 - 耳をもむ。
 - 後頭部をもむ。
 - 腰の後ろを毎日続けて体を動かす。
- 更に毎日心がけることとして、九項目にわたって指導され、生活から四つの敵(病、貧困、孤独、無為)を追い払うことが大事であると言われましたが、学級生はうなずきながら熱心に聴き入っていました。
- 今回学習した、いつでも、どこでも簡単にできる健康体操を私たちの生活に活かして、健やかな生活を送ることができれば幸いです。

若さを保つ

健康体操

阿津賀志学級では八月二十



簡単にできる健康体操

子どもまつりのお知らせ

公民館では、下記のとおり子どもまつりを行います。午後のひとときを公民館で楽しんでみませんか。皆さんのおいでをお待ちします。

記
 と き 10月2日(土) 13:30~16:00
 ところ 国見町公民館
 対象 幼児~小学生
 内容 ①白バイ、パトカーによる交通安全
 ②人形劇とゲーム

藤田スポ少が優勝

公民館、町スポーツ少年団
 連合会主催の「第十回町スポ
 ーツ少年団ソフトボール大会」
 は八月二十二日、徳江運動広
 場で開かれました。

スポーツ少年団のレベルア
 ップと親かくを深めることを
 目的に開かれているもので、
 大会には五チームが参加しま
 した。

参加した選手の皆さんはお
 父さん、お母さんの声援を受
 けながら、精いっぱいプレー
 し、各試合とも熱戦を繰り広
 げました。

成績は次の通りです。
 優勝 藤田
 準優勝 森江野A
 第三位 大木戸A、森江野B

水墨画教室を開講

平成三年、絵画教室を開講
 して、その後絵画クラブを結
 成して活動してきましたが、
 水墨画をやりたいという希望
 があり、一般町民の皆さんに
 もそのような人がいることを
 さいておりました。

たまたま六月の県展のオー
 プンセレモニーに参列して中
 井恒家先生にお会いした時、
 水墨画の指導をお願いしまし

たところ、ご快諾をいただき
 ました。先生は若いころは、
 アマチュアとして、多才な活
 動をされて現在では県下の画壇
 の重鎮として多方面で活躍さ
 れておられます。

八月二十一日、夜七時半に
 開講しましたが、会場があふ
 れるばかりの参加者でした。
 定員三十名で募集して、たち
 まち満席となり、途中キャン
 セルも予想して三十五名で打
 切りしましたが、ほとんどキャ
 ンセルも欠席もありませんで
 した。

水墨画の基本的技法の四君
 子といわれる「竹、らん、梅、
 菊」のうち初日は竹の描き方
 を教えてもらい、早速色紙を
 渡されてみんなびっくりして
 いるところを片っぱしから手



水墨画教室

描きの落かんを入れてひとり
 ひとり色紙を完成し、額に入
 れてもらって生徒さん自身の
 の作品に思わず見とれてはる
 ようで、終わってみれば閉館
 間きわとなり、急いで公民館
 を出る始末でした。

二回目の二十八日も、先生
 手づくりの落かんをみんなに
 渡されてまたびっくり、「らん」
 を練習して額に入れ、み
 んな本当に満足そうでした。

このようにして五回目の閉
 講まで、充実した学習を積み
 重ねて立派な作品が沢山でき
 るでしょう。今年は文化祭が
 となりやめとなり発表の機会が
 なく、ほんとうに残念です。
 今後はクラブ活動として発
 展し、さらに精進されること
 を願っています。

寄贈

ありがとうございます

- 雑巾 山崎東長寿会様
- 雑巾 老人クラブ婦人部様
- (図書) 藤田字町尻 藤田勝衛様
- (図書) (全十五巻) 藤田字町尻 藤田勝衛様
- 「お天気日本史」ほか多数 山崎字小館脇 吉田キヨ様

行事のお知らせ

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
9	16	木	子ども移動図書館 (大枝小)		27	月		成人学級 (健康づくり)	
	17	金	謡曲教室		28	火		阿津賀志学級 (ふるさとの民話)	
	18	土	少年仲間づくり教室		29	水		女性教室研修旅行 (山形県)	
	19	日	水墨画教室		5	火		阿津賀志学級グループ学習 (書道)	
	20	月	ゴルフ教室					子ども移動図書館 (森江野小)	
	21	火	町長杯ゲートボール大会		6	水		女性教室グループ活動 (ジャディス)	
	22	水	子ども移動図書館 (小坂小)		7	木		子ども移動図書館 (藤田小1年)	
	23	木	女性教室グループ活動 (袋もの)		10	日		世代間交流運動会	
	24	金	阿津賀志学級 (交通安全教室ほか)		13	水		子ども移動図書館 (藤田小2年)	
	25	土	女性教室グループ活動 (ジャディス)		14	木		子ども移動図書館 (大枝小)	
	26	日	謡曲教室		15	金		女性教室グループ活動 (袋もの)	
			子育て教室					阿津賀志学級 (旧館とのお別れ会)	
			水墨画教室						
			国見町、桑折町青少年剣道大会	備					考
			ゴルフ教室						

わ
だ
い



大勢の見物客でにぎわった

納涼花火大会

八月二日、観月台公園において、恒例の花火大会が行われました。

八月に入っても、梅雨が明けないうちに、胸がすく色鮮やかな花火(二千二百発)が打ち上げられ、町内外から訪れた大勢の見物客は、夏の夜の祭典を満喫しました。



水面を彩る水中花火

また、水中花火が沼の中で大きく裂けると、完成間近の文化センターのシルエツトが、やみの中に姿を現し、幻想的な雰囲気包まれました。見物客たちの「ワー」という歓声は、花火の打ち上げが終わるまで続いていました。

吉田スゲさん 吉田千代子さん に感謝状

八月二日、町長室において、保護司として活躍された吉田スゲ(森山字箱西八)さんと吉田千代子(石母田字築山二)さんに、退任されるに当たり、法務大臣からの感謝状の伝達と、町長からの感謝状と記念品の贈呈が行われました。二人はともに、昭和六十年



富永町長より感謝状が贈られる

十二月から七年余の間、法務大臣の委嘱をうけて、地域社会の浄化、犯罪者の保護更生に力を注いでこられました。長い間、本当に御苦勞様でした。

熱気を帯びた

サマーフェスティバル

商工会青年部(徳菊菜治部長)主催による第六回サマーフェスティバルが、八月七日、町中心部の商店街を歩行者天国にして開催されました。

お母さんに手を引かれた幼児や、夏休み中の小中学生が、餅つき大会、宝探しゲーム、アニメビデオショー、輪ゴムゲーム、バターゴルフ、PKゲーム、輪投げ、宝落とし、



「宝落とし」ゲームに興じる子供たち

水金ヨーヨーなどの様々なイベントを楽しみました。夕方からは、会場中央に設けられた特設やぐらを囲み、盆踊りが行われました。

盆踊りは、子供と大人に分けて行われ、ゆかた姿の人や、思い思いに仮装した人、会社ぐるみで参加する人など、大勢の人が参加して行われました。

夜遅くまで、訪れる人は途絶えることなく、フェスティバルは、熱気を帯びていました。

ふくしまビッグフェア

町の特産品をPR

今年で三回目の開催となるふくしまビッグフェアが、福島市の福島競馬場で開催され



ビッグフェアで国見町の特産品をPR

ました。八月二十日から八月二十二日までの三日間開催された'93ふくしまビッグフェアには、県内九十市町村自慢の特産品が勢ぞろいし、展示、即売されました。

また、ゲームコーナーや緑日コーナーも設けられ、残り少ない夏休みを楽しむ家族連れなどでにぎわいました。

当町では、ニツト製品、桃、凍もち、桑の実ジャム、ずんだ福餅などを出品するとともに、入場者に、観光パンフレット、産品パンフレットなどを配布し、精力的に国見町をPRしました。

編集日記

○遅い梅雨明け、冷夏、そして週末になると判で押したようにやってくる台風、いつまで続くのか異常気象。

一説によると「エルニーニョ現象」の影響によるものとか、高気圧の発生する位置がいつも年よりも、日本から遠ざかったことによる天候異変。

滅入った気持ちを吹き飛ばすような秋晴れを望みたい。